

(表紙)

平成 28 年度

「校長経営戦略支援予算配付申請書」

大阪市立夕陽丘中学校

校長 福山 英利

平成 28 年 4 月

1 学校運営における現状と課題 ※運営に関する計画の1学校運営の中期目標欄に記載の現状と課題を再掲

現状

- ・「感動と心」をキーワードとし、教育目標を『生きる力』を育む感動ある教育活動を推進し、思いやりあふれる学校をめざす。」と設定して、教育活動を展開している。
- ・生徒は学習に対する意欲をもち「何事にも心を込めて行動する」を努力目標として、教育活動の取り組みを進めている。学習面では、全国学力・学習状況調査において、全国平均をやや上回る結果となっており、意欲的に学習活動を進めている。また、基本的な生活習慣が、身につけている生徒がほとんどであるが、一部、生活指導上の課題のある生徒も現存する。
- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、男女とも体力合計点で全国平均を上回っている。生徒数に対して、運動場等が狭い状況ではあるが、保健体育の授業での補強運動や部活動の練習内容を工夫することにより体力の向上が図られている。
- ・学校協議会においては、教員が、授業で工夫を凝らし学習指導に取り組んでいる点と多様な課題に教職員が協働して取り組んでいる点が、評価されている。

課題

- ・学力の二極化が、課題としてあげられる。習熟度授業や少人数授業を活用することや、生徒間で話し合う活動を行うなどの工夫を行い、より良い授業実践を展開し、自ら学習できる態度を育成する。
- ・学校元気アップ事業をより積極的に活用して地域との連携をさらに深めていく。
- ・体調面や時間管理等について自ら考え、行動できるそして、自己管理のできる生徒の育成に努める。
- ・学習面や生活指導面において、9年間のスパンで子どもを育てるという観点で、小中連携を推進していく。

2 学校運営の中期目標 ※運営に関する計画の1学校運営の中期目標欄に記載の中期目標を再掲

【視点 学力の向上】

- 校内教育アンケートにおける「授業で、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思う。」の項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を70%以上にする。(カリキュラム改革関連)
- 小学校と年間3回の小中連絡会を持ち、教育課題の共通理解をはかり、9年間を見通した教育内容の検討をさらに進める。(マネジメント改革関連)
- すべての教科でICTを活用した授業を行い、生徒の探究心を高める。(カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 毎年度末の校内調査において遅刻生徒の数を、毎年、前年度より減少させる。(カリキュラム改革関連)
- 校内教育アンケートにおける「人の気持ちがわかる人間になりたいと思う。」の項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を95%以上にする。(カリキュラム改革関連)
- 校内教育アンケートにおける「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」の項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を45%以上にする。(ガバナンス改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

- 校内教育アンケートにおける「清掃活動を積極的に取り組んでいる。」の項目について、「よくあてはまる(ややあてはまる)」と答える生徒の割合を85%以上にする。(カリキュラム改革関連)
- 校内教育アンケートにおける「体調面での自己管理ができている。」の項目について、「よくあてはまる(ややあてはまる)」と答える生徒の割合を80%以上にする。(カリキュラム改革関連)
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「保健体育の授業は楽しいですか。」の項目について、「楽しい(やや楽しい)」と答える生徒の割合を90%以上にする。(カリキュラム改革関連)

3 中期目標の達成に向けた年度目標 ※運営に関する計画再掲

【視点 学力の向上】

- ①言語活動の取り組みを学校全体で取り入れ、校内教育アンケートにおける「授業で、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思う。」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を70%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- ②校区小学校と校種や教科を越えた連携を図り、指導法について研修し、相互の授業参観を実施する。
(マネジメント改革関連)
- ③すべての教科でICTを活用した授業を、年間総授業時数のうち少なくとも1時間行う。
(カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- ①平成28年度末の校内調査において遅刻生徒の数を前年度より減少させる。
(カリキュラム改革関連)
- ②校内教育アンケートにおける「人の気持ちがわかる人間になりたいと思う。」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を95%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- ③校内教育アンケートにおける「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を45%以上にする。
(ガバナンス改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

- ①校内教育アンケートにおける「清掃活動を積極的に取り組んでいる。」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える生徒の割合を85%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- ②校内教育アンケートにおける「体調面での自己管理ができています。」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える生徒の割合を80%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- ③全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「保健体育の授業は楽しいですか。」の項目について、「楽しい（やや楽しい）」と答える生徒の割合を90%以上にする。
(カリキュラム改革関連)

4 27年度の自己評価結果の総括 ※27年度の運営に関する計画再掲

- ・生徒の学力の向上は、教員の授業力の向上と考え、今年度も授業改善に取り組んだ。校内授業研究と研究協議は、全教員が参加し充実しており、若手教員の育成にもなっている。学び続ける教員サポート事業で、全教員が指導案のある授業研究を実施した。全教員が参加できる態勢の充実を図りたい。
- ・集団育成の具体的方策として、ピア・サポート活動の取組みを実施している。教員対象の研修も実施した。今後も引き続き、計画的に研修を行い、生徒の育成に繋げていく。学年集会や全校集会を充実させ、基本的な生活習慣の育成を、全教職員で取り組んだ。その結果、落ち着いた雰囲気のある学校になっている。
- ・清掃指導を通し、子どもの心を育てるために、今年度も、クリーンアップ大作戦を土曜授業として、地域や保護者の力を借り取り組んだ。今回は、同窓会やダスキンとの協力で実施した。保護者の参加も昨年度より多かった。保護者に啓発した結果である。クリーンアップ大作戦で学習したことが、努力目標である「自らすすんで掃除をする生徒」の育成に繋げるよう指導の工夫をしていきたい。
- ・学校元気アップ地域本部と連携して、重点目標である、「生徒の道徳心、社会性をはぐくむ取り組みを進める」を、ボランティア活動（地域行事への参加、生徒会清掃）や夕陽丘カルチャー教室（日本文化体験学習）、クリーンアップ大作戦を実施した。地域の人材を活用し、生徒に社会の関心を持たせる取組みをした。次年度も、教職員組織と地域本部との連携を強め、教育活動を充実させたい。

5 28年度の自己評価結果の総括 ※運営に関する計画再掲(年度末に記述)

※シートが複数枚になってもさしつかえありません。

6 事業執行管理体制名簿

学校長 (福山 英利)

教頭 (吉次 憲保)

学校事務職員 (三井 美香)

申請受付日

/

申請受付日

指導部で記入 →

/

【様式 2 - 1】

(所属(市費)コード 5 9 2 2 4 1)

大阪市立夕陽丘中学校 平成 28 年度 校長経営戦略支援予算【基本配付】配付申請書

| 年度目標 | 達成状況 |
|---|------|
| <p>【視点 学力の向上】</p> <p>① 言語活動の取り組みを学校全体で取り入れ、校内教育アンケートにおける「授業で、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思う。」の項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を 70%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>② すべての教科で ICT を活用した授業を、年間総授業時数のうち少なくとも 1 時間行う。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>【視点 健康・体力の保持増進】</p> <p>① 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「保健体育の授業は楽しいですか。」の項目について、「楽しい(やや楽しい)」と答える生徒の割合を 90%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> | |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|---|------|
| <p>取組内容①【表現力の育成】</p> <p>授業で言語活動を活発に取り入れることを目標に授業内容を工夫し、研究授業・研究協議を実施することで、学校全体で表現力の育成に努める。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 年度中 1 回表現力の育成を目指した校内研修会を実施。</p> | |
| <p>取組内容②【体育授業の充実】</p> <p>生徒が主体的に授業を展開することのできる授業づくりを行う。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 ICT 機器を年間 5 時間以上活用し、生徒間で話し合いながら技術を高められる授業を展開する。</p> | |
| 27 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 | |
| <p>① 各教科の授業において、表現力の育成を目標に授業を行ってきた。校内アンケートの「授業で生徒間で話し合う活動をよく行っていると思いますか」の項目で、肯定的な回答が 66%となり、目標を上回った。 ICT を活用した授業については、各教科で実施が増えてきているが、更なる研究・実践が必要である。</p> <p>② 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、男女とも体力合計点で全国平均を上回っている。生徒数に対して、運動場等が狭い状況ではあるが、保健体育の授業での補強</p> | |

運動や部活動の練習内容を工夫することにより体力の向上が図られている。

28年度への改善点

ICT機器を活用した探究心を高める授業方法を研究し、より一層生徒が主体的に授業に取り組めるよう研究を進める。また、「表現力の育成」を目標にしたリテラシーの向上や意見討論の方法等の充実をめざした研究を進める。

体調面や時間管理等について自ら考え、行動できるそして、自己管理のできる生徒の育成に努める。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度（今後）への改善点

◆基本配付申請内容に対応する項目を記載※運営に関する計画再掲

※シートが1枚に収まらないときは、複数枚になってもさしつかえありません。

大阪府立夕陽丘中学校 平成 28 年度 校長経営戦略支援予算【基本配付】配付申請書

学校配付申請額 810,000円

| ※配付上限額(※円単位) | | | | | | | | | |
|---------------------------|---------|-----|---|--------|---|---------|---|---------|--|
| 学校配当 | | 学級数 | | 学級配当 | | 特別支援学級数 | | 学級配当 | |
| 300,000 | + | 13 | × | 30,000 | + | 4 | × | 30,000 | |
| 学びサポーター経費 (様式A経費合計欄再掲) | | | | | | | | | |
| 配付上限額 | | - | | 0 | | = | | 学校配付申請額 | |
| = | 810,000 | - | | 0 | = | 810,000 | | | |

◆学校配付申請額費目別予算(※円単位)

| 8-1 報償金 | 11-1 消耗品費 | 11-4 印刷製本費 | 11-6 建物修繕料 | 12-1 通信運搬費 | 12-4 手数料 | 12-7 損害保険料 |
|------------|--------------|---------------|---------------|---------------|-------------|---------------|
| | 275,000 | | | | | |

| 13 委託料 | 14-1 使用料 | 14-2 船車賃借料 | 18-2 校用器具費 | 18-3 図書購入費 | 合計 |
|-----------|-------------|---------------|---------------|---------------|----|
| 450,000 | | | 85,000 | | |

◆取組内容・予算内訳

| 取組内容①【表現力の育成】 | | |
|--|-------------------------------|-----------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動を活発に取り入れるなどし、子どもたちの表現力・コミュニケーション能力・論理的思考能力を高める。 ・芸術鑑賞や音楽コンクールを通じて、表現力を育成するとともに、豊かな心を養う。 (カリキュラム改革関連) | | |
| 予算内訳 | | |
| 予算費目 | 予算内訳明細 | 申請額(※円単位) |
| 13 | 芸術鑑賞 委託料 | 450,000 |
| 18-2 | 電子ピアノ (ヤマハ YDP-142B) | 85,000 |
| 取組内容②【体育授業の充実】 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・様々な種目において興味関心を高め、主体的に授業に参加するとともに、自分たちで工夫して練習・ゲームを行う態度を育成する。 (カリキュラム改革関連) | | |
| 予算内訳 | | |
| 予算費目 | 予算内訳明細 | 申請額(※円単位) |
| 11-1 | バレーボール (ミカサ MVA400) @5,500×15 | 82,500 |

| | | |
|------|---------------------------------------|--------|
| 11-1 | バスケットボール (モルテン MTB 6 WG) @5,600×5 | 28,000 |
| 11-1 | バスケットボール (モルテン MTB 7 WG) @5,500×5 | 27,500 |
| 11-1 | サッカーボール @5,400×5 | 27,000 |
| 11-1 | ゲームベスト (モルテン GB0113-B) @16,000×1 | 16,000 |
| 11-1 | ゲームベスト (モルテン GB0113-Y) @16,000×1 | 16,000 |
| 11-1 | シャトルコック (ゴーセン・アメジスト) @2,300×30 | 69,000 |
| 11-1 | ネモメディシンボール (3 kg・ニシ NT5883C) @4,500×2 | 9,000 |
| | ・ ・ ・ | |

※シートが1枚に収まらないときは、複数枚になってもさしつかえありません。

申請受付日

指導部で記入 →

【様式 3 - 1】

(所属(市費)コード 592241)

大阪市立夕陽丘中学校 平成 28 年度 校長経営戦略支援予算【加算配付】配付申請書

| 年度目標 | 達成 状況 |
|--|----------|
| <p>【視点 学力の向上】</p> <p>①言語活動の取り組みを学校全体で取り入れ、校内教育アンケートにおける「授業で、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思う。」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 70%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>②すべての教科で ICT を活用した授業を、年間総授業時数のうち少なくとも 1 時間行う。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>【視点 道徳心・社会性の育成】</p> <p>①校内教育アンケートにおける「人の気持ちがわかる人間になりたいと思う。」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 95%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>②校内教育アンケートにおける「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 45%以上にする。 (ガバナンス改革関連)</p> | |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗 状況 |
|--|----------|
| <p>取組内容①【ICT の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内の委員会を中心に、ICT 機器の整備と管理を行い、全教員が利用できる環境を整える。研修等へ参加し、活用事例や活用方法を検討する。 (カリキュラム改革関連) | |
| <p>指標 年度中 3 回 ICT 活用研修を実施する。</p> | |
| <p>取組み内容②【社会性の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気アップ事業との連携、生徒会ボランティア清掃への参加など地域とのかかわりを働きかける。 | |
| <p>指標 生徒会主催で年に 2 回地域の清掃活動を行う。 保護者、地域の方と協力し校内の大掃除を年 1 回実施する。</p> | |
| <p>・ ・ ・</p> | |

27年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- ① ICTを活用した授業に取り組む計画であったが、前半期は十分な取組みができなかった。後半期は多くの教科で取組みを始めたが、有効な活用法を試行錯誤しながら検討し始めたところである。
- ② 校内アンケートの「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の項目で、肯定的な回答が40%以上となり、目標を上回った。引き続き、生徒が地域の一員としての自覚と役割を意識できるような取組みを進めていく。

28年度への改善点

- ① ICT活用推進委員会を立ち上げ、委員会を中心として研究を進める体制を作る。各教科での活用状況・活用方法について情報交換し、教員のICT機器の活用力を高める。
- ② 地域の方の学校教育への協力意識は高いものがある。生徒たちが地域・保護者の方の支援に対して感謝の意識を持ち、自らも地域に貢献しようとする意識をより一層高める。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度（今後）への改善点

◆加算配付申請内容に対応する項目を記載※運営に関する計画再掲

※シートが1枚に収まらないときは、複数枚になってもさしつかえありません。

大阪府立夕陽丘中学校 平成 28 年度 校長経営戦略支援予算【加算配付】配付申請書

学校配付申請額 418,500円

◆学校配付申請額費目別予算(※円単位)

| | | | | | | |
|------------|--------------|---------------|---------------|---------------|-------------|---------------|
| 8-1 報償金 | 11-1 消耗品費 | 11-4 印刷製本費 | 11-6 建物修繕料 | 12-1 通信運搬費 | 12-4 手数料 | 12-7 損害保険料 |
| 60,200 | | | 358,300 | | | |

| | | | | | |
|-----------|-------------|---------------|---------------|---------------|----|
| 13 委託料 | 14-1 使用料 | 14-2 船車賃借料 | 18-2 校用器具費 | 18-3 図書購入費 | 合計 |
| | | | | | |

◆取組内容・予算内訳

取組内容①【ICTの活用】

表現力や発表能力、コミュニケーション能力を育成するため、また探究心を高めるために ICT を活用した授業方法の研究に全教科で取り組む。そのために研究・実践を進める教室の整備を行う。プロジェクタを教室内前壁上部に設置し、パソコン等をつなげばすぐに使える環境を整え、機器の準備にかかる時間を短縮し、効率よく授業を進められるようする。

(カリキュラム改革関連)

予算内訳

| 予算費目 | 予算内訳明細 | 申請額(※円単位) |
|------|-------------------------------|-----------|
| 11-6 | プロジェクタ壁掛け設置 (2 教室分) | 358,300 |
| | 壁掛け金具 @21,500×2=43,000 | |
| | インターフェース BOX @21,500×2=43,000 | |
| | マグネットスクリーン @33,600×2=67,200 | |
| | 機器設置費用一式 @54,000 | |
| | 配線工事一式 @21,600 | |
| | 調整費一式 @15,000 | |
| | 部材費一式 @52,000 | |
| | 雑材料費 @7,500 | |
| | 諸経費一式 @12,000 | |
| | 安全衛生管理費 @43,000 | |

取組内容②【開かれた学校づくり】

特色ある本校の取組み（地域の人材を活用した日本文化体験、福祉施設の協力のもと行う福祉体験、地域の事業所の協力のもと行う職場体験、地域で行うボランティア活動など）に地域の方や保護者の協力を得るとともに、その内容について発信し、信頼される学校をつくる。

(ガバナンス改革関連)

○日本文化体験学習の実施（第1学年）

【内容】茶道、琴、華道、日本画、詩吟、民謡、日本舞踊、能楽、和菓子、紙芝居など

大阪市立夕陽丘中学校 平成 28 年度 校長経営戦略支援予算【加算配付】配付申請書
(補足説明資料)

- ・補足説明資料は、A 3 用紙 2 枚(A 4 用紙 4 枚)までとする。
- ・様式は問わない。(ワード、エクセル・パワーポイント・原稿(紙様式)等)

※取組内容の必要性と期待できる効果は必ず記載して下さい。

取組内容①【ICT の活用】

ICT を活用した授業方法の研究に全教科で取り組む。ICT を効果的に授業で活用することにより表現力や発表能力、コミュニケーション能力を育成する。また、探究心を高める授業実践を行い、自ら学ぶ態度を育成する。その結果、知識や技能を活用しながら、自ら論理的に考え、個人やグループで課題を解決していく力が高まり、グローバル化する社会で力強く生き抜く力が育成できると考える。

しかしながら、教員の ICT 活用能力はまだ十分とは言えず、早急に研修・実践を行っていく必要がある。そのためにも機器を使いやすい環境を作り、積極的に ICT を活用した授業研究に取り組めるよう、今年度は 2 教室の環境整備を行う。

また本校の ICT 教育担当教員は、教育センターより「ICT 教育推進教員 (ICT フロンティア)」に選定されており、教育センターでの研修もとに先進的に研究を進めていくことになっている。「ICT フロンティア」を核としながら、全教員の ICT 活用能力を高めていこうと考えている。

取組内容②【開かれた学校づくり】

日本文化体験、福祉体験、職場体験、ボランティア活動などを実施することにより、自国の歴史や文化・伝統を尊重するとともに、多様な文化を理解し尊重する態度を養う。その結果、自尊感情が高まり、互いの違いや良さを認め合う態度が身につく。また、地域の方や保護者が協力してくださることで、地域社会の一員であることを自覚し、社会に貢献しようとする態度が身につく。